



# 日本SPF豚協会だより

2019. 1  
No. 74

**特 集**

日本SPF豚協会、これまでの50年、これからの50年③

## 日本の養豚農業が存続し発展するために

日本SPF豚協会 SPF豚農場認定委員会委員  
日本養豚協会専務理事

**小磯 孝**



日本SPF豚協会が創立50周年を迎えること、お祝い申し上げます。

半世紀にわたり、養豚農場の防疫体制の強化と生産性向上のためにSPF生産システムが有効であることを啓発・普及してこられたことに改めて敬意を表します。

日本SPF豚協会が設立された1969年は、我が国の近代養豚の始まりが明治3年～4年と言われていいますので、近代養豚100年目の節目の年でもあります。この年の前後は、日本の養豚業界にもさまざまな動きがありました。

当時、養豚の組織は、戦後1948年に設立された豚肉生産の基盤となる種豚改良を目的とした日本種豚登録協会しかありませんでしたが、この年、養豚振興、養豚の施策に対する要望等に対応するため、全国種豚協会が設立されました。養豚組織はその後、設立、統合、合併を繰り返してきましたが、2011年に全国の養豚生産者を結集した日本養豚協会が設立され今日に至っています。

豚肉の生産体制も戦後、中ヨークシャー、パークシャーの中型品種から、1961年頃には豚肉需要に対応するためランドレース、大ヨークシャーといった大型品種の導入の歴史を経て、発育の良い、飼料要求率など産肉能力に優れたハンプシャー、デュロックなどの品種が多数輸入され、本格的な交雑育種による豚肉生産が始まりました。

交雑による豚肉生産は、豚枝肉の斉一性や枝肉重量、背脂肪厚にバラツキが出る等の影響もあることから、豚枝肉取引規格が改正され、1970年2月には規格等級に「極上」が新設されました。

海外からの種豚の輸入が増えることは、病気の侵入リスクも高くなり、日本SPF豚協会は日本養豚の将来を見据えた

諸先輩の熱意が結集された結果として誕生したと思います。

今回、この特集の執筆のために50年前の状況を色々と調べたところ、疾病対策に関しては、豚コレラの生ワクチンの実用化試験が開始された年であり、生ワクチンによる撲滅を目指すことが明確に示されていた年でもありました。2007年に豚コレラ清浄国に認定されましたが、昨年の岐阜県での26年ぶりの発生は大変残念な事態です。改めて農場の防疫対策の難しさと重要性を再認識する機会となったと思います。

9年前に宮崎県で発生した口蹄疫も32万頭の牛、豚を殺処分する大変な事態となり、その後清浄国となりましたが、隣国の台湾、韓国は続発しており、アフリカ豚コレラは、ヨーロッパ、中国で感染拡大が深刻な事態となっています。有効なワクチンのないアフリカ豚コレラを、日本に侵入させないためには、発生国からの観光客等が持ち込む肉・肉加工品等の水際チェックの徹底も言われますが、中国からの観光客だけでも年間760万人、摘発される肉・肉加工品等は4万件にもなり、水際対策だけでは阻止できない状況ではないかと思っています。最後の砦は、農場への侵入防止対策であり、農場の衛生レベルの更なる向上はわが国の養豚農業の存続にかかわる重要な課題です。

日本SPF豚協会には、50周年を新たなスタートの年と位置付け、日本の養豚農業が将来にわたって存続し発展するために、さまざまな疾病対策や国内養豚農場の衛生レベル向上の先駆者となって、養豚業界を牽引していただきたいと思っています。

「継続は力なり」。日本SPF豚協会の益々のご発展を祈念いたします。

# SPF豚セミナーを開催

スマート畜産への取り組みや  
「子ども食堂」の実態を紹介  
薬剤耐性対策や  
アフリカ豚コレラの情報提供も



▲ セミナーの様子

協会では昨年11月8日(木)、東京都千代田区のKKRホテル東京において平成30年度SPF豚セミナーを開催いたしました。養豚現場における最新設備情報紹介、および社会的にも関心が高まっている、子どもの貧困と子ども食堂の実態についての講演の他、農林水産省の担当官から、薬剤耐性対策およびアフリカ豚コレラの発生状況等の情報提供もいただきました。

また、例年同様生産成績最優秀CM農場表彰式も執り行われ、総合生産成績部門で北海道の青木ピッグファーム(株)(5年ぶり6回目の受賞)、商品化頭数部門で岩手県の(農)八幡平ファーム(4年連続6回目の受賞)の2農場が表彰されました。

選考委員会を代表し岩村祥吉・認定委員会副委員長が講評で「表彰は平成19年度に始まり、今回で12回目を迎えた。多産系母豚の普及が進み、出荷頭数も増加し、皆さんの努力が実りつつある。さらなる高品質のSPFポークを目指してほしい」と述べました。

どちらも表彰常連の農場ですが、受賞に際し青木ピッグファームの青木サリアさんは「頭数も増え忙しい毎日です。今日も4時半起床で農場に行ってからここに来ました。これも従業員の努力のおかげです。また新しい気持ちで前進していきたいです」と挨拶。また、(農)八幡平ファームの阿部正樹組合長も「職員の努力とチームワーク、関係者の支援の結晶です。皆の努力が報われました。我々の目標は、高いモチベーションを持ち続けながら豚を健康

に育てる、この一点につきます。これからもがんばります」と挨拶されました。

なお、「子どもの貧困と子ども食堂」の講演に先立ち、千葉県内の認定農場が2016年から取り組んでいる、千葉県市川市のこども食堂ネットワークへの豚肉等の食材提供の取り組みについて、林寛康協会理事(榊林商店社長)から報告がありました。

参加者は140名近くと例年を上回り、充実した内容だったとの感想を、多くの方からいただきました。

主な講演の要旨は次の通りです。

## 「薬剤耐性(AMR)対策の現状について」

小澤真名緒(農林水産省消費・安全局畜産安全管理課課長補佐)

抗菌性飼料添加物のリスク管理措置をめぐる動きとして、農林水産省は2018年4月コリスチン(動物用医薬品)を第二次選択薬とし、2018年7月にコリスチンの指定取消・使用禁止の改正省令等を施行した。

また、食品安全委員会は2018年10月にテトラサイクリン系、マクロライド系のリスク評価案を公表。テトラサイクリン系、マクロライド系共に、指定取消の方向である。わが国の家畜由来大腸菌のテトラサイクリンの薬剤耐性率は2014年で45%。これを2020年までに33%まで低下させる。オランダの事例では、テトラサイクリンの使用量を半減させると、耐性率も低下することが示されている。

(輸入肉や家畜の耐性菌については、どの様な対応になっているかの質問に対して)、現在規制する法律がない状態では何もできないのが実情である。



▲ 青木ビッグファームの青木サリアさんと四女の園子さん



▲ 八幡平ファームの阿部正樹組合長と妻の麗さん



▲ 講評を述べる岩村祥吉認定副委員長



▲ 小澤真名緒課長補佐



▲ 伴 光課長補佐



▲ 遠藤祐治氏



▲ 林寛康協会理事



▲ 胡内敦司氏

(規制値以上の残留薬剤の検出された食品の流通についての質問に対して)、食品の薬剤残留は厚労省の管轄であるが、規制値以上に検出された食品は流通できない。

## 「アフリカ豚コレラ発生状況と対策強化について」

伴 光<sup>あきら</sup> (農林水産省消費・安全局動物衛生課課長補佐)

(岐阜県で発生した豚コレラについて) 現在、養豚場での新たな発生はないが(注:セミナー当時)、野生のイノシシからウイルスが検出されており、封じ込め作戦を展開中である。

アフリカ豚コレラについては、特徴的の症状はない。解剖所見は準備してあるが、生々しい写真なので、希望者が閲覧できるようにしている。生肉や加工品による感染拡大防止に力点を置いている。

このウイルスは酸にもアルカリにも比較的強い。有効な消毒薬は2~3%塩素液またはヨード系消毒薬(30分)等がある。

世界中に拡大しており、欧州・ロシアの他、中国の拡大が続いており、国際的連携が重要となっている。中国での感染拡大を受け、関係各省庁や航空会社等との連携を図り、監視を徹底し、わが国の水際・防疫体制を強化している。

## 「スマート畜産への取り組み ~IoT等を活用した養豚器材」

遠藤祐治 (株中嶋製作所技術部)

①レーザーセンサによる飼料タンク内の残量軽量システム、②コントロールフィーダー(1日の給餌を複数回に分けて給与する装置)、③洗浄ロボットなどがある。洗浄ロボットは作業時間を59%カットできる。遠隔操作の可能性を実験中である。また、空調管理システムも養鶏分野で実験中である。

今後の畜産の方向としては、「女性・シニアの働きやすい環境作り」、「情報機器を使いこなす畜産」、「働きがいのある仕事場」、「労

働力を付加価値生産に特化させる」などを考えている。

## 「子どもの貧困とこども食堂について」

胡内敦司 (松戸市総合政策部兼子ども部審議監)

貧困には絶対的貧困と相対的貧困がある。絶対的貧困とは人間として最低限生活を営むことができない状態である。生命を維持するのがやっとの状態と言った方がわかりやすい。特に、乳幼児期の栄養失調は知的障害を引き起こすので、社会的損失は多大である。

相対的貧困は可処分所得の全世帯の中央値(平均値ではない)の半分を下回る所得しか得ていないものの割合をさす。新聞等で貧困問題として取り上げるのは、相対的貧困である。2013年調査では、こどもの6人に1人が貧困である。さらに母子家庭、父子家庭では2人に1人が貧困となっている。

貧困率は毎年、経済協力開発機構(OECD)が発表しているが、OECD加盟国34か国中、日本の相対貧困率は29位、こどもの貧困率は25位(2010年)となっている。貧困率はその国の国力を表しており、わが国は先進諸国の中でも見劣りする。

家庭の経済事情が、こどもの健康状態、学力に影響を与えている。さらに、こどもの進路にも影響を及ぼしている。この貧困問題を放置した時、ある研究機関の推計によると、経済的損失は約2.9兆円、財政負担も1.1兆円増の可能性がある。

政府もこどもの貧困対策に乗り出している。子どもが自立して次のステップにいける土台を作ることを目指している。この試みが十分機能を発揮すれば、その見返りは4兆円ということになる。

では、我々は何をするのか。まず関心を寄せることだろう。今の自分が6分の1(の貧困の子ども)と繋がっていることを感じる事が一番重要である。無理なく、縁の下の力持ちになる方法はいくらでもあるような気がする。

豚サイトメガロウイルス(PCMV)病は、豚ヘルペスウイルス2の感染により引き起こされる豚の全身あるいは呼吸器の疾患です。

原因ウイルス

PCMVはヘルペスウイルス科、ベータヘルペスウイルス亜科に分類されています。しかし、サイトメガロウイルス属には分類されず、その属は未定のままです。PCMVのゲノムは直鎖状、2本鎖DNAです。DNA polymerase遺伝子、glycoprotein B遺伝子及びmajor nucleocapsid protein遺伝子の解析により、PCMVはヒトのヘルペスウイルス6型(HHV-6)と7型(共にRoseolovirus属)に遺伝学的に近縁なことが分かってきました。また、PCMVとHHV-6の抗体は交差反応します<sup>3)</sup>。

病態

PCMV病の病変は大きく次の2つに分けられます。①胎子や新生豚にみられる全身細網内皮組織の病変、②日齢の進んだ豚でみられる上皮組織の病変です。胎子や新生豚では、水腫と点状出血が全身にみられます。点状出血は腎臓の被膜下で顕著にみられます。妊娠豚では死産、ミイラ胎子及び胚死がみられます。ミイラ胎子は、様々なステージのものがみられます。これらの急性の致死性感染では、封入体は全身の毛細血管内皮細胞に確認されます。一方、日齢の進んだ豚では、明らかな肉眼病変はみられません。組織学的には、好塩基性核内封入体や巨細胞化が鼻粘膜腺(図)、ハーダー腺の腺房や導管、涙腺及び腎尿管上皮細胞にみられます。この病変は「封入体鼻炎」という病名の由来として知られています。

確定診断

診断には、臨床観察、剖検、血清学的検査、病理組織学的検査及びウイルス学的検査を実施します。PCMVに起因する封入体と組織病変を確認することが重要です。

毛細血管内皮細胞の封入体は、HE染色で非常に識別しにくい場合が多く、確定診断に支障をきたしていました。この問題を解決するために、我々は、PCMV抗原とmRNAの組織内局在を明らかにする方法(免疫組織化学とIn situ hybridization)を確立しました<sup>5)</sup>。これらの方法はPCMVの封入体の検出率を非常に高めることができたため、広く普及し、多くの事例で用いられるとともに、医学領域において豚を用いた異種間臓器移植等の国際的な研究にも利用されています<sup>2)</sup>。これらにより確定診断できる症例が多くなり、PCMV病の実態が少しずつ明らかになってきました。新生豚や離乳豚にPCMV病が多いことが明らかになりました<sup>5)</sup>。また新生豚では腎臓髓質の血管内皮細胞に多くPCMVが検出されることがわかってきました<sup>6)</sup>。

近年、スイスで、全年齢の豚におけるPCMVの集団発生がありました。このうち肥育豚ではPCMVとCystoisospora suisの混合感染が確認されています<sup>1)</sup>。このようにPCMVとその他の病原体の混合感染が、様々な飼育形態の養豚場で発生する可能性があり、十分な注意が必要です。

伝播と予防



PCMVは豚に広く感染しており、乳、尿及び糞便を介して容易に水平伝播します。また垂直感染も起こります。日本の野生イノシシにもPCMV病が確認されています<sup>4)</sup>。そのため豚とイノシシを含む野生動物が接触しないようにするとともに、飼養衛生管理基準の遵守が重要になります。PCMV病に対するワクチンは市販されていません。導入のストレスにより潜伏感染していた豚においてウイルスが再活性化し、豚群にPCMVが導入される可能性があるため注意が必要です。

ブタのウイルス病

連載 No.19

豚サイトメガロウイルス病



農研機構 動物衛生研究部門  
病態研究領域病理ユニット上席研究員  
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻客員教授  
芝原友幸

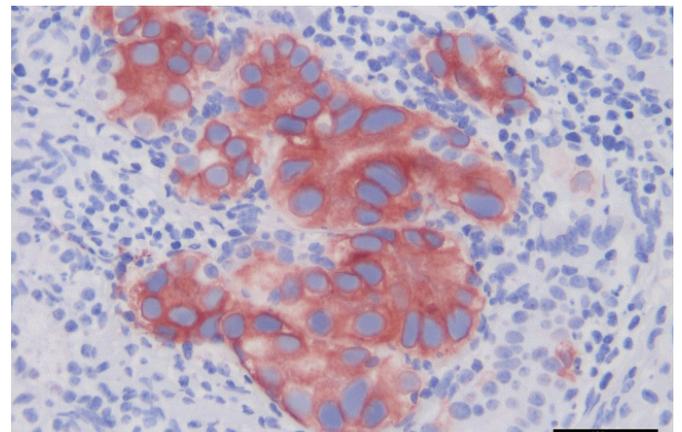
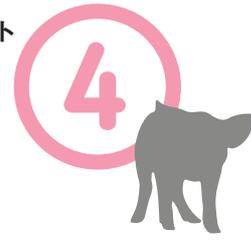


図 豚の鼻粘膜。多数の巨大化した鼻粘膜上皮細胞の細胞質に一致して抗PCMV血清に対する陽性反応(赤色)がみられる。免疫組織化学。Bar=100 µm。

1. Basso W, et al., (2017) Parasitol Int. 66: 806-809.  
2. Fiebig U, et al., (2018) Viruses. 10: 66.  
3. Fiebig U, et al., (2017) Viruses. 9: 317.  
4. 入部ら, (2013) 日獣会誌. 66: 243-247.  
5. Sekiguchi M, et al., (2012) J Virol Methods. 179: 272-275.  
6. 芝原ら, (2012) 日獣会誌. 65: 429-435.

連載 種豚の能力を最大限発揮させるための飼養管理、栄養管理のポイント

# 繁殖成績を引き出すための 若雌、種豚管理 4



中部飼料(株)研究技術部養豚グループ 石川靖之

これまでに若雌育成、母豚P2管理、妊娠前期の給餌管理とお伝えしましたが、今回は海外種豚ダンブレットの推奨摂取エネルギーを例にとり種豚栄養についてお話しします。

ダンブレットの推奨エネルギー値の記載はフィードユニット(FU)という単位を利用しています(図1)。これは大麦1kg当り相当のエネルギーを1FUとして表現しており、北欧での主原料が大麦に起因していることからきており、あまり聞き慣れないエネルギー単位かと思しますので、TDNに換算したものを記載しました(表1)。

表1を見るとわかるように、ダンブレットの推奨エネルギーは妊娠期でTDN69.4%、授乳期で72.8%です。日本飼養標準(2013年)の種豚妊娠期のTDNは妊娠期70%、授乳期75%です。また、一般的な国内種豚用飼料のTDNは妊娠期で70~74%、授乳期で76~79%前後、ダンブレットの方が飼料中推奨エネルギーが低いことがわかります。

次に推奨給与量について。ダンブレットでの妊娠期平均給与量目安は2.87kg/日です。一方、日本飼養標準では2.13kg/日です。**栄養摂取は飼料の成分値と給与量(摂取量)の掛け算**によって決まるので、ダンブレットの推奨摂取エネルギーは母豚1頭当たり妊娠期で1日当たりTDN換算69.4%×2.87kg/日=199.18%/日となります(図2)。この199.18%/日を日本飼養標準記載の給与量2.13kg/日で割ると、飼料1kg中のTDNはなんと93.5%となり

ます。つまり、ダンブレットは一見推奨成分だけを見るとエネルギーの低い飼料を推奨していると想像しがちですが、給与量が多いという特徴があり、実際には妊娠中かなりエネルギー要求量が高い種豚といえます。

このように、飼料栄養成分を決定する際には1日何kg給与するのかが前提に考える必要があります。また既に決まった栄養成分の飼料が準備されている場合は、逆に何kg給与する必要があるのかを計算しなければなりません。その際注意が必要なのが飼育環境温度です。多くのマニュアルは適温環境下を前提に作成されており、冬場のように環境温度(豚舎内温度)が下がる場合は、寒冷に対するカロリーの増給が必要です。ダンブレットでは、室温が15℃以下となった場合0.18~0.28FU/日エネルギーを増やすことを薦めています(表3)。他の種豚メーカーや日本飼養標準にも同様の記載があります。

このように、種豚の能力を引き出すためには、1日当たりの推奨栄養摂取量を満たすように、飼育環境(設備、温度)、目標給与量、各栄養成分のバランスを配慮して飼料の栄養成分設定を行わなければなりません。また、今後も種豚の育種改良は進み、種豚の栄養要求もそれに合わせて徐々に変わってくると考えられます。常に最新の情報を入手し、給与体系や飼料栄養について検討する機会を設けることが種豚の能力を栄養面で引き出す鍵だと思います。

**図1 Feed Unit(FU)とは?**

- Feed Unit(FU)とは?
  - ※必ず必ず地域で利用されるエネルギー単位で1FU=大麦1kgのエネルギー
  - FUは肥育用の(F<sub>up</sub>)と種豚、空母用の(F<sub>low</sub>)に分かれ、ME、NEへの換算は以下の表を参照。
  - FU ME換算: 1.0FU<sub>low</sub>=13.3MJ ME×2.59+1.05MJ ME2.599kcal/kg
  - 大麦TDN換算: 70.5%×4.1×1.05=2.999kcal/kg
- 配合飼料例ではエネルギー単位はNRG MEの記載有り。

Energy content per kg diet of a normal complete diet:	Feed unit	MJ ME	MJ NE	MJ physiological energy
Lactation diets	1.06 FU <sub>low</sub>	13.3	9.6	7.9
Gestation diets	0.99 FU <sub>low</sub>	12.6	8.8	7.4
Weaner diets, 6-9 kg	1.18 FU <sub>up</sub>	14.4	10.5	8.7
Weaner diets, 9-30 kg	1.17 FU <sub>up</sub>	14.1	10.4	8.6
Finisher diets, 30-100 kg	1.07 FU <sub>up</sub>	13.4	9.6	7.9

▲図1

**表1 ダンブレット推奨栄養成分**

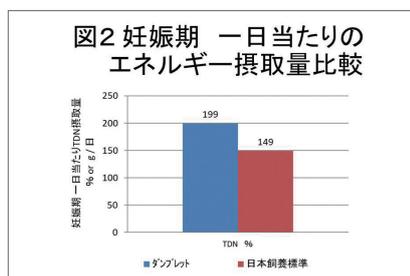
	単位	ダンブレット		日本飼養標準	
		妊娠期	授乳期	妊娠期	授乳期
DE NRC (可消化エネルギー)	kcal/kg	3,060	3,210	3,080	3,300
ME NRC (代謝エネルギー)	kcal/kg	2,980	3,100	-	-
NE NRC (正体エネルギー)	kcal/kg	2,270	2,850	-	-
Fislow (フィードユニット)	FU/kg	1.02	1.08	-	-
<b>TDN換算</b>	%	<b>69.4</b>	<b>72.8</b>	<b>70.0</b>	<b>75.0</b>
可消化CP	%	9.2	12.5	-	-
有効Lys (リジン)	%	0.34	0.84	0.43	0.74
総Lys (リジン)	%	0.43	0.96	0.51	0.87
有効Lys - DE		0.111	0.262	0.139	0.224

▲表1

**表2 品種別 妊娠期給与量比較 (標準体型・経産豚)**

品種	妊娠期給与量 kg/日				備考
	前期	中期	後期	妊娠期平均	
A	2.7	2.6	3.1	2.75	
B	2.3	2.0	2.7	2.25	
C	2.3	1.8	1.8	2.00	
DK (Danbred)	2.9	2.5	3.4	2.87	1.02 FU <sub>low</sub> /kgの場合
日本飼養標準	2.13	2.13	2.13	2.13	

▲表2



▲図2

**表3 冬場の母豚へのカロリーアップ**

Unit	FU	SOw/日	ME kcal/日	TDN % /日	15-20℃ 増量kg/日対比	10-15℃ 増量kg/日対比	5-10℃ 増量kg/日対比	5℃以下 増量kg/日対比		
15-20℃	0	0	0	0	0	0	0	0		
10-15℃	0.18	0.28	548	652	12.9	20.1	0.190	0.290	74.7	74.8
5-10℃	0.36	0.56	1095	1709	25.9	40.2	0.370	0.580	79.8	80.1
5℃以下	0.71	0.85	2160	2586	51.0	61.1	0.730	0.880	89.9	85.6

▲表3

紹介・SPFのお店①

# かわねや木崎本店

茨城県常陸太田市木崎二町 874

TEL.0294-72-4411 FAX.0294-72-4414

かわねやは茨城県北部、常陸太田市を中心に5店舗を展開する地域密着型スーパーマーケットです。前身は市場の水産物卸会社、小売部門が独立して50年、店舗の他にレストランや配送センター、デリカ工房、ミートセンターなどもあります。

地産地消にこだわった販売戦略と品質の良さで消費者の信頼を得て、大手スーパーを抑え地域トップ、抜群の売上を誇ります。取材に伺った日の木崎本店も平日の午後だというのに、来客が途絶えることはありません。

やはり強みを生かした鮮魚部門が評判ですが、国産豚肉は地元の認定農場、(有)常陸牧場の銘柄豚「<sup>ぶなぶた</sup>樺豚」です。驚くのはその陳列スペース。価格訴求で少量取り扱うカナダ産豚肉の数倍以上です。

バイヤーである本部商品部副部長の大澤桂一郎さんは、かねてから樺豚に注目、矢吹和人・常陸牧場社長に直接取引を申し出たことも。3年前から取り扱いが実現しました。すぐに試食会を行ったところ大好評で売り上げが伸びたそうです。「脂がちがう。食感がよくてしっとりしていて、色も安定してい

▼左からかわねや・大澤桂一郎さん、常陸牧場・矢吹和人さん、(株)SCミート・高林 篤さん



ます。ということありません」と樺豚にぞっこんの様子。店内にもポスターなどを展示し、知名度アップにも余念がありません。卸会社、(株)SCミート執行役員で肉のプロ、高林 篤さんも「脂が軽いんです。肉質が安定していて生産量のばらつきがない。ありがたい肉です」と大絶賛です。

強みはセット販売、ほかのスーパーではあまり見かけない希少部位もあります。この日同行いただいた矢吹社長もわざわざ購入されていました。こま切れの評判がよいため販売しやすいのだとか。また、お惣菜やお弁当の材料としても活用、併設されているデリカ工房で手作りしています。カツ丼や、ベーカリーの樺豚コロケパンが大人気だそうです。この日も午後1時の段階で、樺豚コロケ、コロケパンともに売り切れでした。地元スーパーでいつでも購入できる常陸太田の方がうらやましい限りです。



## 協会からのお知らせ

### ● ちくさんフードフェアに出展いたしました

協会では昨年10月6日、7日の2日間、神奈川県川崎市の日本食肉流通センターにおいて開催された「ちくさんフードフェア」に出展いたしました。好天に恵まれ13万4000人の来場者がある中、今回もSPFポークしゃぶしゃぶの試食や抽選会が大好評でした。協会ホームページでもご紹介し



ています。ぜひご覧ください。出展にご協力いただいた会員・ピラミッド、東京農業大学の学生の皆さん、ありがとうございました。

### ● ご参加ありがとうございました

昨年11月8日のセミナー終了後開催された懇親会には、100名以上の方にご出席いただきました。今回は北海道の認定農場にエールをと、しゃぶしゃぶと骨付きハムは森町の道南アグロ産をご提供、ほかに恒例のハム・ソーセージなどの加工品(神奈川・厚木ハム製)もご試食いただきました。



講師の方々や表彰農場の方々と囲んで、情報交換も盛り上がったようでした。ご出席、ご協力いただいたの方々、誠にありがとうございました。

## プロのシェフおすすめ、カンタン、おいしいSPFポークレシピ



### 海老と大葉の 豚肉巻き

●レシピ提供・しゃぶしゃぶMEGUMI

料理長 岩淵 進 (北海道札幌市)

今号は海老と豚肉という新鮮な組み合わせの逸品を教えていただきました。にんにくも入って栄養満点。シェフのアドバイス通り、豚肉を焦がさないようにすると、なるほど海老や大葉の色合いと黒こしょうがアクセントになって、彩りも鮮やかですね。ぜひお試しください。

#### ●材料● (1人前)

- ・ SPFポークバラしゃぶしゃぶ用 6枚
- ・ ブラックタイガー 3尾
- ・ にんにくスライス 2片分
- ・ 大葉 3枚
- ・ ブラックペッパー 適量
- ・ 塩・こしょう 適量
- ・ うま味調味料 適量
- ・ 油 適量
- ・ マヨネーズ お好みで
- ・ ベビーリーフ 適量

#### ●つくり方●

- ① 海老は背ワタを取り除いたら串に刺して真っすぐにし、うまみ調味料をふります。
- ② ①に、にんにくスライスを均等に並べ、大葉1枚でにんにくが落ちないように巻き、さらに豚肉2枚で包み込むように巻きます。塩・ブラックペッパーをかけます。
- ③ フライパンに油を入れて中火にし②を入れて転がしながら均等に9分間焼きます。  
焼きあがったら斜めに切り皿に盛り、ベビーリーフとマヨネーズを添えて出来上がりです。

#### ★岩淵シェフからのアドバイス

肉の表面を焦がさないように、じっくり焼き上げてください。

## 認定情報

### ●2018年12月認定農場

[12月認定](有効期間:2018年12月13日から19年12月末日まで)  
**北海道**・ホクレン滝川・スワインステーション、全農飼料畜産中央研究所上士幌種豚育種研究室、(有)道南アグリ、富良野スワインファーム(有)、(有)サクセス森、**青森県**・(有)ふなばやし農産、同第3農場、神明畜産(株)八戸ファーム、**岩手県**・(有)ケイアイファウム玉山農場、齊藤SPF農場繁殖農場、同肥育農場、(有)胆沢養豚、カワムラSPFファーム、北日本JA畜産(株)本社農場、(農)八幡平洋野牧場、**秋田県**・(有)ポークランド、(株)ユキザワ雪沢農場、**山形県**・(有)最上川ファーム、**宮城県**・(株)しまぎき牧場蔵王高原農場、**福島県**・神明畜産(株)川内ファーム、(株)ユキザワ玉川農場、(株)フリーデン都路牧場、**茨城県**・(有)常陸牧場、**群**

**馬県**・(有)長谷井畜産、ピッグファームゴカン、**千葉県**・(株)ツナシマ、(株)愛東ファーム銚子農場、同東庄農場、高森養豚、小長谷養豚、(有)菅井物産SPF農場、**岡山県**・岡山JA畜産(株)吉備農場、同田淵農場、**広島県**・(株)広島ポーク、**愛媛県**・全農畜産サービス(株)愛媛SPF豚センター、(株)ユキザワ大川農場、**大分県**・JA北九州ファーム(株)直入農場、同安岐農場、**長崎県**・大西海ファーム、(有)芳寿牧場口之津牧場、同国見牧場、同島原農場、同新島原農場、同新国見農場、**宮崎県**・ジャパンミート(株)夏尾農場、(有)ナガトモ、**鹿児島県**・(有)エクセルファーム湧水農場、そお元気ファーム(株)持留農場、同久保崎農場(以上49農場)  
 ※次回認定委員会は2019年3月7日(木)の予定



岡野茂樹さん  
香織さん  
(千葉県東庄町)

養豚とこかぶ生産の二刀流、  
それぞれが面白い  
年に1度の家族旅行を励みに



母豚120頭規模の岡野茂樹農場の経営者、岡野茂樹さん(41歳)は、認定農場には珍しく地元特産のこかぶ農家でもあります。その作付面積は約20町歩。地域でも有数の生産量です。二足のわらじの強みを生かし、農場の堆肥を畑に還元する循環型農業にも取り組み始めました。

姉と弟の3人兄弟の茂樹さん、高校卒業後、すぐ家業に従事します。子どもの頃は無理やり手伝わされた仕事でしたが、成長するにつれだんだん面白いと思うようになり、スムーズに就業できたそうです。「両親、特に母親がとても大変そうだったのもあるかな」。生まれたときから家に豚がいたという茂樹さんですが、当時の仕事はこかぶがメインでした。その後規模拡大に伴い、豚とこかぶの二刀流に。

両立させるのは大変では? 「やると決めたからにはチャレンジです。豚も畑もどうしたらよくなるか考えると、どちらも面白い。自分で考えて決めたらすぐやる。いいものができれば、その努力が報われる。結果が出るのがいいですね」。

朝6時から畑に出てかぶの収穫、その後豚舎へ。夕方再び畑へと休みなしの毎日です。

そんな茂樹さんを支えるのは結婚15年目の妻、香織さん。共通の友人を通して知り合った二人ですが、第一印象は? 「やさしい、かな」(香織さん)、「話していて気を遣わない。しっかりしてるなど」(茂樹さん)。かねのわらじを履いてでも探せと言われる、一つ上の姉さん女房の香織さんは、当時美容師と

して働いていましたが、長女の出産を機に退職。農業は未知の世界でしたが「何も考えず(笑)」3人のお子さん(長女、長男、次女)を保育園に預けながら、家業の手伝いをしてきました。養豚の方はここ1、2年ですが、何の抵抗もなかったそうです。4世代同居もスムーズに、家事と農場経営の事務方も担っています。一方、技術を活かして子どもたちや、最近までは茂樹さんの髪も自らカットもしてきましたが「長男がお父さんと同じ床屋に行くと言いだして切らせてくれなくなりました(笑)」。

なかなか休みがとれず、楽しみと言えば家での晩酌ぐらい、趣味のゴルフや釣りもままならない茂樹さんですが、欠かさないのは年に1度の家族旅行。お子さんたちの夏休みを利用し、車で各地へ。「楽しみがあれば、またがんばれますから」と香織さん。旅を通してリフレッシュし、さらにパワーアップされるのだろう、美男美女の仲良しご夫婦でした。(編集部)



編集後記

明けましておめでとうございます。さて今年は亥年、協会50周年でもあります。しかし、めでたさも半分以下。特に養豚業界を取り巻く疾病環境は悪化の一途?国内ではサーコ、PRRS、PED等に加え、昨年末からの豚コレラ騒ぎ。海外では口蹄疫に加え中国のアフリカ豚コレラ拡散脅威。一瞬で今までの苦労が水泡に帰す危うさを覚えます。特集にもありますが、最後の砦は農場への侵入防止です。自農場の防疫に抜けはないか?やっているつもりになっていないか?生き残りをかけ、真価が問われることになりそうです。(世)



日本SPF豚協会認定農場産シール  
このマークは  
日本SPF豚協会の  
登録商標です

日本SPF豚協会だより

第74号 2019年1月1日発行(季刊)  
発行 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-2  
TEL.03-5835-5375 FAX.03-5835-5376  
e-mail:j.spf.a@nifty.com  
http://www.j-spf.com/  
発行人 北島 克好  
編集人 藤田 世秀